

佐野市景況レポート

令和4年1～3月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

コロナ禍と原材料・仕入価格の高騰より景況感悪化

【 令和4年1～3月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲38.2、前期（12月期）比▲5.0ポイントと、市内事業所の景況感は悪化しました。

利益DI指数▲43.1（前期比▲4.4）、売上高DI指数▲35.2（前期比▲4.1）と共に悪化しました。原材料・仕入価格DI指数は64.0（前期比+14.6、前年同期比+44.7）、販売価格DI指数は7.2（前期比+4.2、前年同期比+12.1）と原材料・仕入価格の急騰に販売価格への転嫁が難しい状況にあります。

【 令和4年4～6月期 見通し 】

全業種業況DI指数は▲32.0（前期比▲1.7）と、景況感の悪化を予想しています。売上高DI指数▲27.3（前期比▲4.1）、原材料・仕入価格指数58.4（前期比+14.5）、販売価格指数11.2（前期比+9.3）と、売上高DI指数は悪化、原材料・仕入価格DI指数と販売価格は大幅な上昇を見込むなど、3か月後も3月期と同様に、売上指数の低下と仕入価格の大幅な上昇により景況感は悪化する見通しです。

【 事業所等の景況コメント他 】

今回の景況に関するコメントの特徴は、①原材料・仕入価格の高騰、②新型コロナウイルスの影響による客数減少です。特に、製造業・卸売業において原材料・仕入価格の高騰が多く記載されていました。また、小売・飲食店では新型コロナウイルスの影響による来店客数の減少等のコメントを多く頂きました。

円安と資源高が企業収益と消費者生活を圧迫しています。もはや、円安効果は一部の輸出企業に限られるようです。反面、円安の悪影響は資源高とあいまって中小企業や消費者に広く及んでおり、円安が経済にマイナスになるリスクが顕在化されました。

〔佐野市内における業況天気図〕

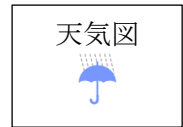
	実 績 (令和4年1～3月期)		見通し (令和4年4～6月期)	
業 況	▲38.2		▲32.0	
売 上 高	▲35.2		▲27.3	
販 売 価 格	7.2		11.2	
仕 入 価 格	64.0		58.4	
労 働 力	▲21.9		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・ 仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清 (中小企業診断士)

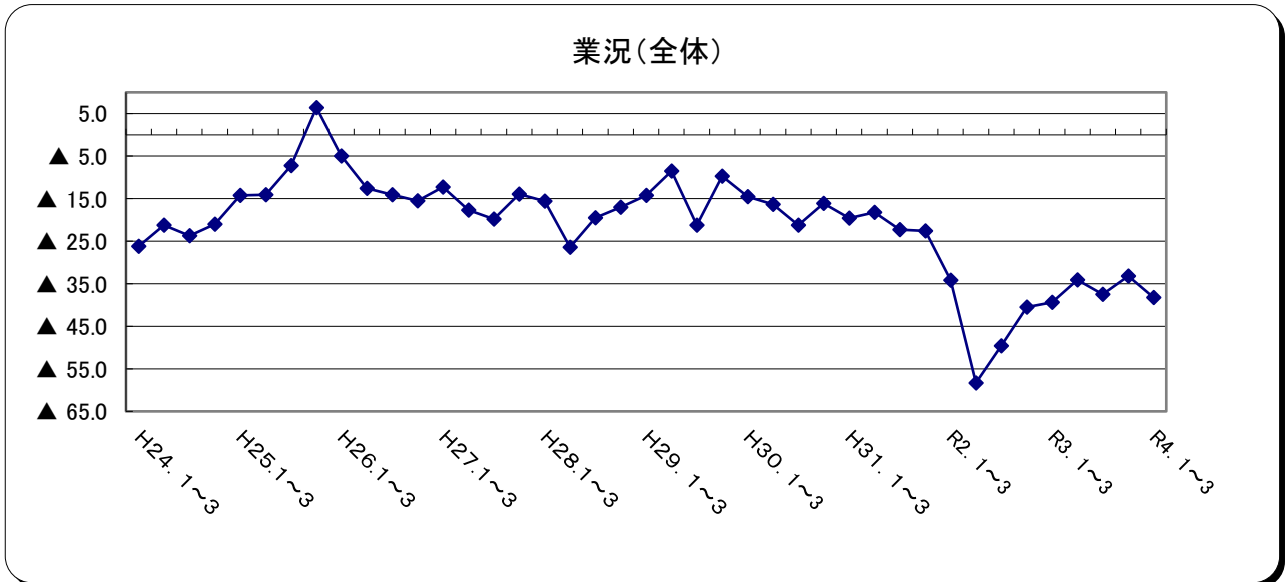
☆ 業況について (令和4年1~3月期実績)



全業種 DI 指数▲38.2、前期比▲5.0 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業▲9.1 ポイント、②建設業▲13.3 ポイント、③機械・金属製造業▲15.0 ポイント、④サービス業▲31.6 ポイント、⑤卸売業▲33.3 ポイント

良い
↑
悪い



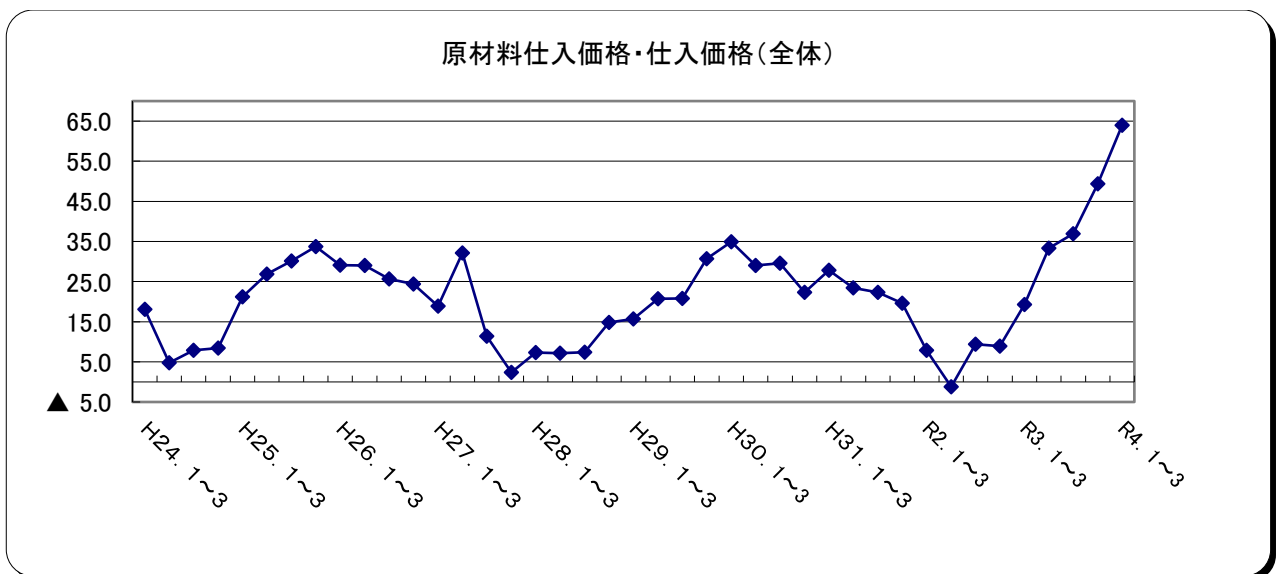
☆ 原材料仕入価格・仕入価格について (令和4年1~3月期実績)



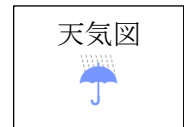
全業種 DI 指数 64.0、前期比 14.6 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①小売業(飲・食料品)88.2 ポイント、②卸売業 83.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業 80.0 ポイント、④繊維品製造業 78.9 ポイント、⑤設備業 71.4 ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和4年1～3月期実績）

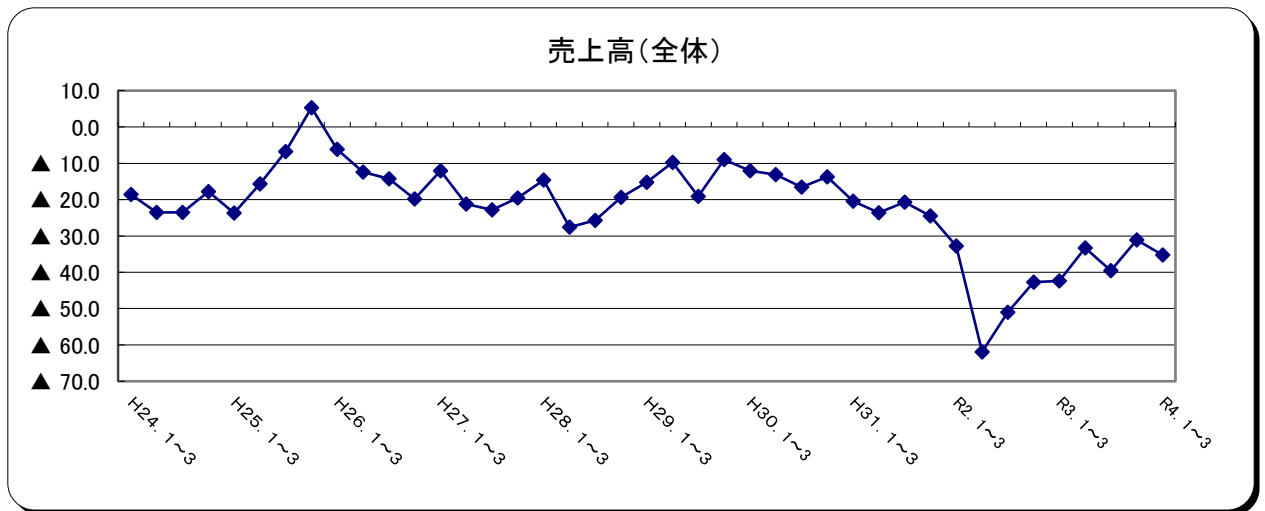


全業種DI指数▲35.2、前期比▲4.1ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業▲20.0ポイント、②化学・プラスチック製品製造業▲22.4ポイント、
- ③機械・金属製造業▲22.5ポイント、④卸売業▲23.1ポイント、⑤建設業▲25.3ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和4年1～3月期実績）

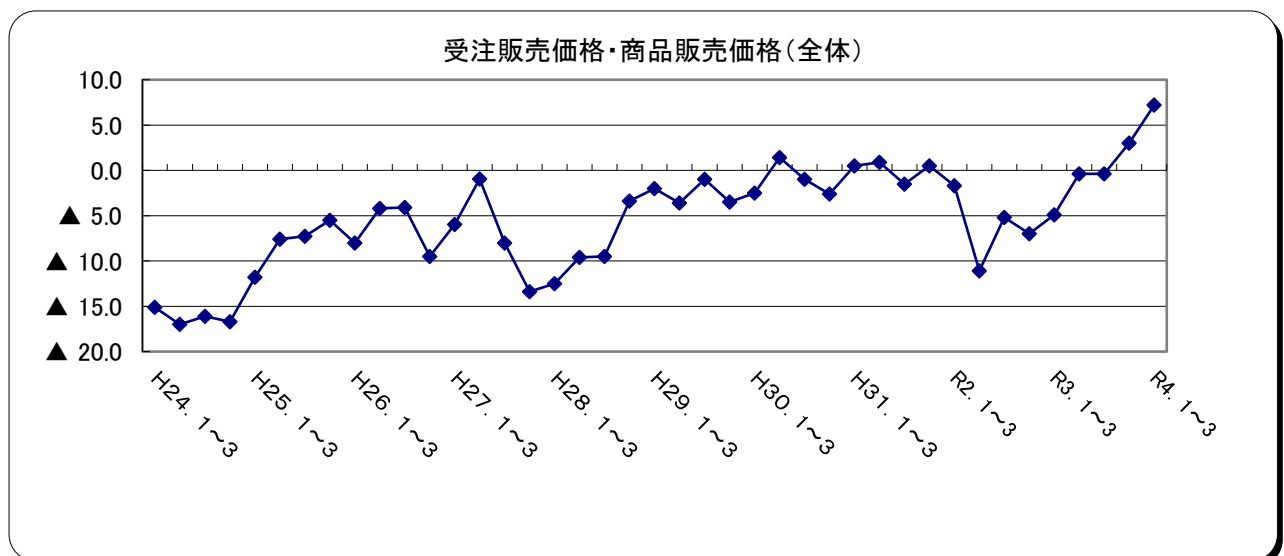


全業種DI指数7.2、前期比4.2ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①卸売業39.6ポイント、②小売業(飲・食料品)22.0ポイント、③その他の製造業17.6ポイント、
- ④その他の小売業(大型店含む)13.4ポイント、⑤建設業13.3ポイント

上昇
↑
↓
下落



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和4年1～3月期実績）

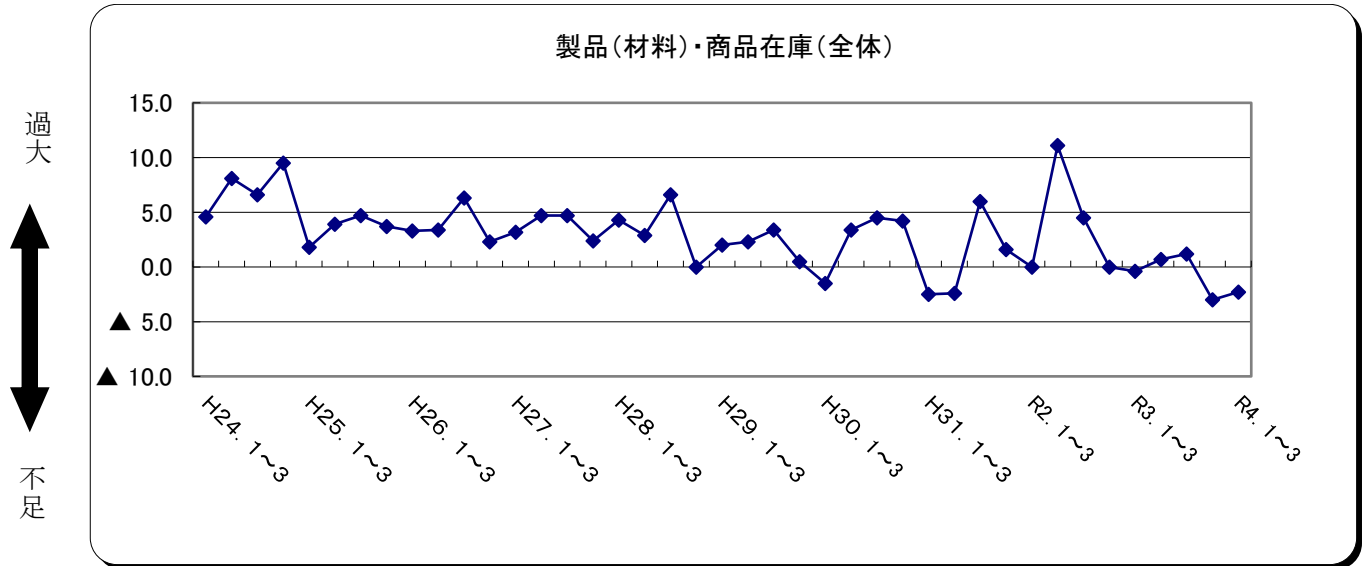
天気図



全業種 DI 指数▲2.3、前期比 0.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①化学・プラスチック製品製造業 8.6 ポイント、②食品製造業 5.3 ポイント、③飲食店 4.0 ポイント、④機械・金属製造業 3.5 ポイント、⑤繊維品製造業、その他の製造業、小売業（飲・食料品）0.0 ポイント



☆ 利益状況について（令和4年1～3月期実績）

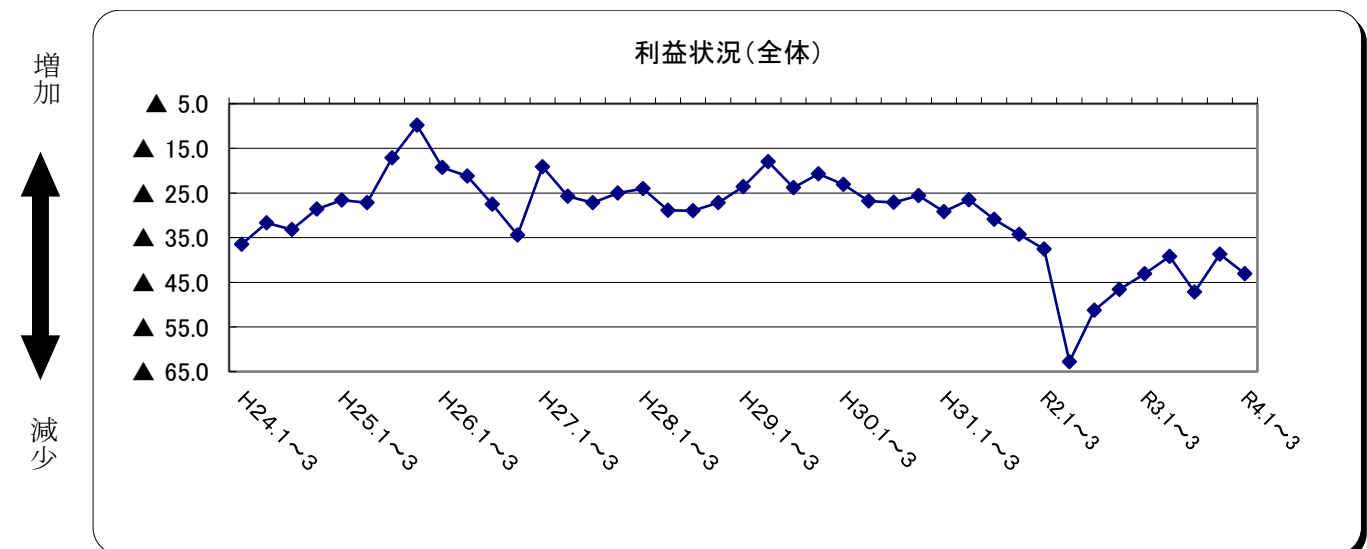
天気図



全業種 DI 指数▲43.1、前年比▲4.4 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業▲20.9 ポイント、②卸売業▲23.1 ポイント、③機械・金属製造業 25.9 ポイント、④繊維品製造業、小売業（飲・食料品）▲38.5 ポイント、⑤設備業▲39.1 ポイント



☆ 資金繰りについて (令和4年1~3月期実績)

天気図

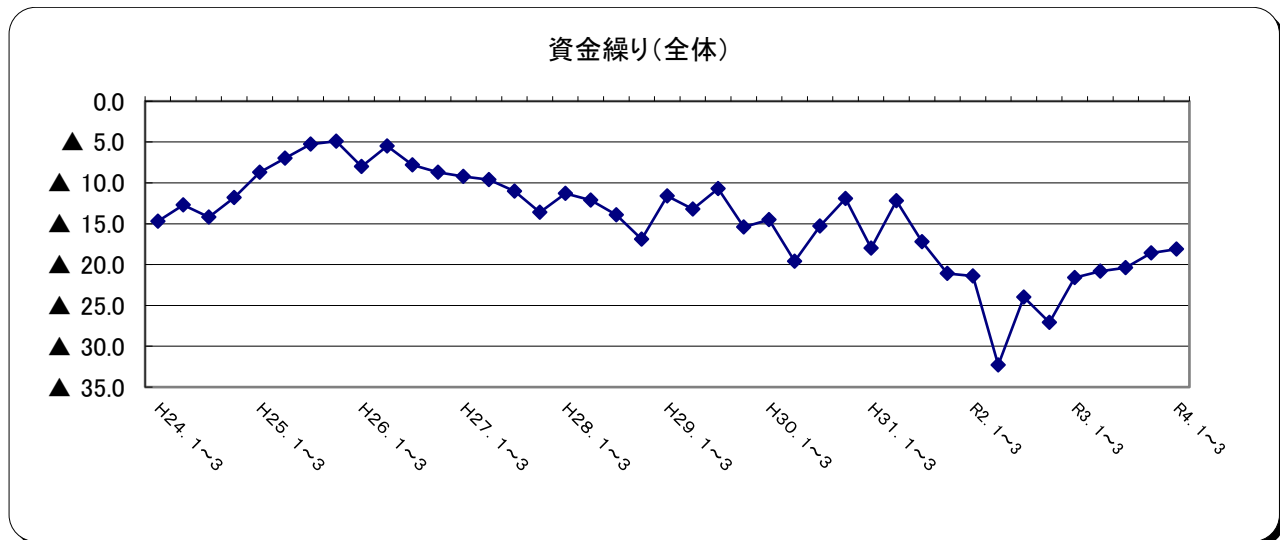


全業種 DI 指数▲18.1、前年比 0.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①建設業 0.0 ポイント、②卸売業▲5.3 ポイント、③繊維品製造業▲7.0 ポイント、④その他の製造業▲8.6 ポイント、⑤機械・金属製造業▲13.6 ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和4年1~3月期実績)

天気図

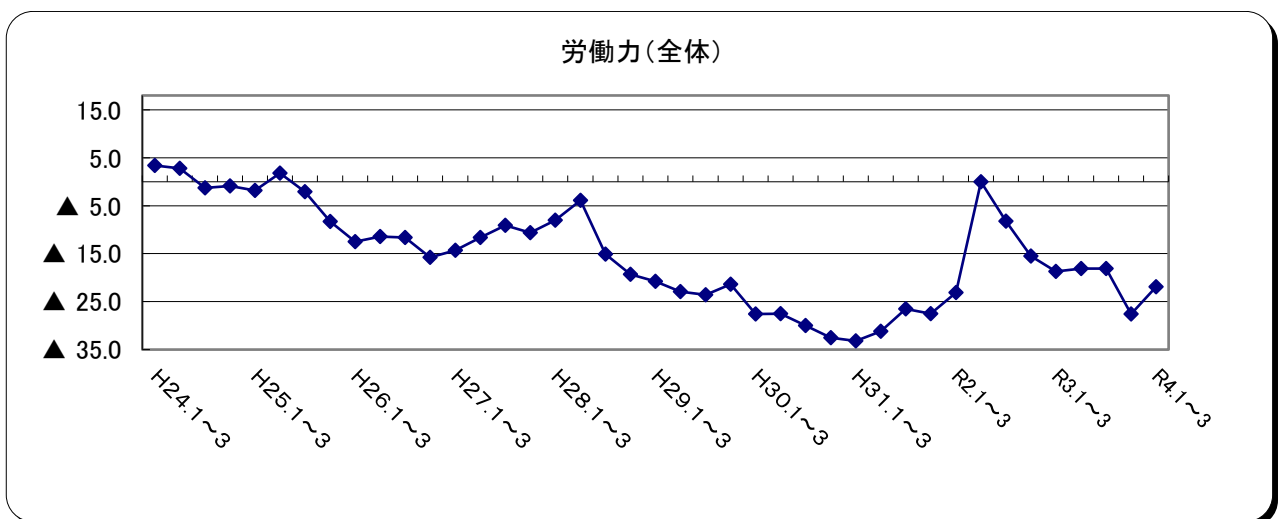


全業種 DI 指数▲21.9、前年比 5.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①飲食店 3.9 ポイント、②繊維品製造業 0.0 ポイント、③卸売業▲11.1 ポイント、④サービス業▲14.6 ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲17.1 ポイント

過剰
↑
↓
不足

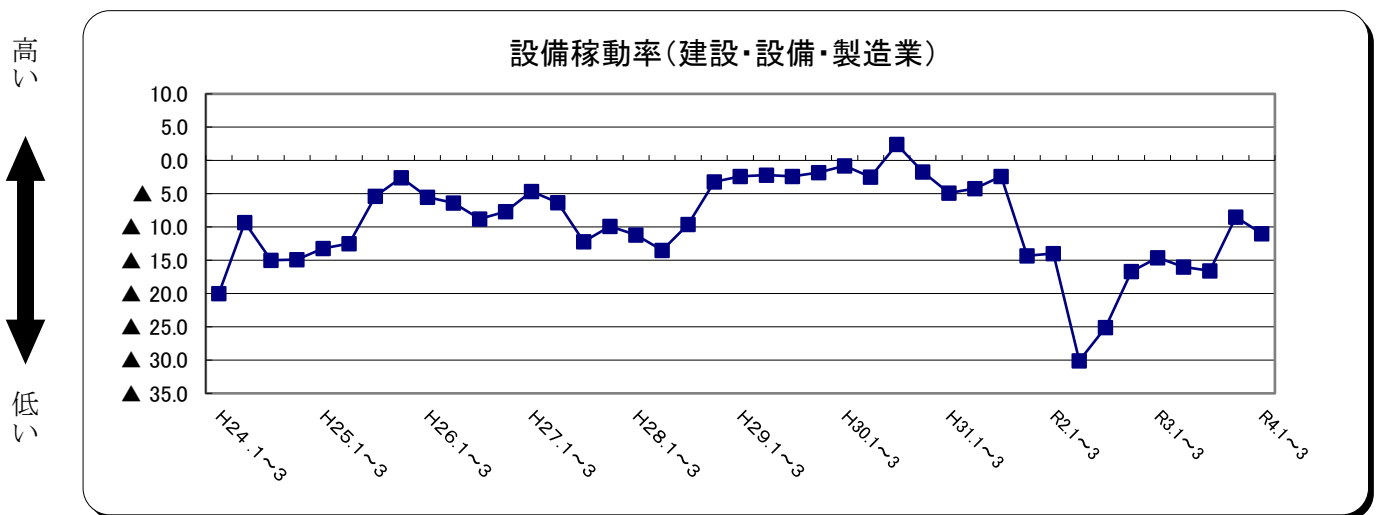


☆ 設備稼働率について (令和4年1~3月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



全業種 DI 指数 ▲11.5、前年比 ▲3.0 ポイント低下
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①建設業 ▲6.5 ポイント、②設備業 ▲12.0 ポイント、③機械・金属製造業 ▲14.6 ポイント、④その他の製造業 ▲18.8 ポイント、⑤食品製造業 ▲21.4 ポイント

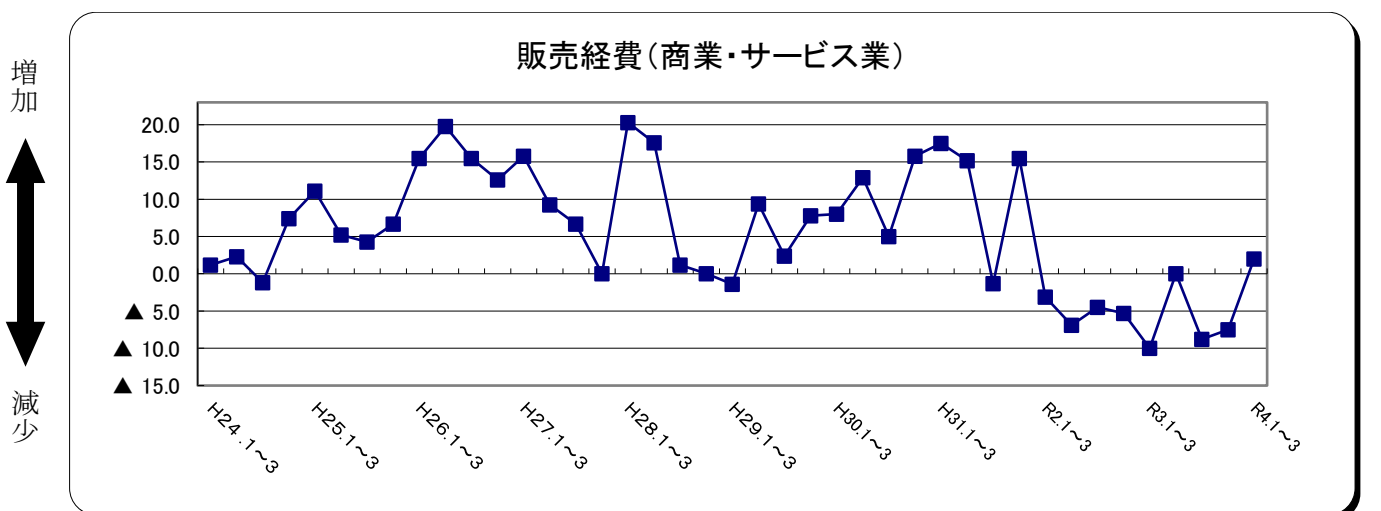


☆ 販売経費について (令和4年1~3月期実績)
(商業・サービス業関係)



全業種 DI 指数 2.9、前年比 10.4 ポイント上昇
業種別 DI 指数 (上位5業種)

- ①小売業(飲・食料品) 38.5 ポイント、②卸売業 22.2 ポイント、③サービス業 ▲3.6 ポイント、④その他の小売業(大型店含む) ▲8.8 ポイント、⑤飲食店 ▲12.7 ポイント



☆ 今後3ヶ月先（令和4年4～6月期の見通し）の業況について

天気図

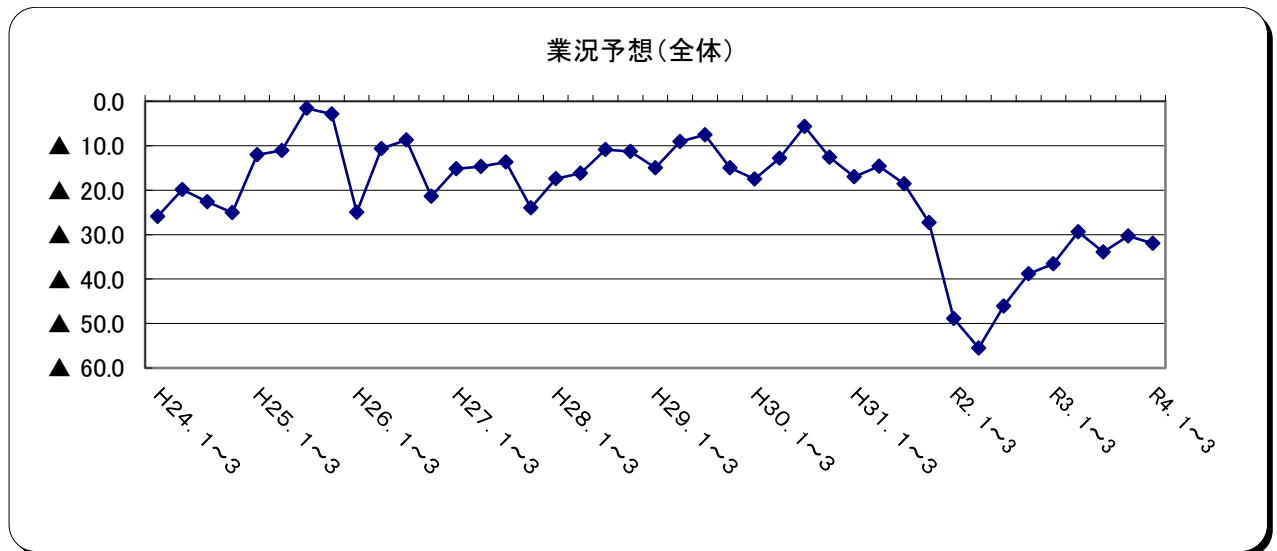


全業種DI指数▲32.0、前年比▲1.7ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲11.4ポイント、②その他の製造業▲17.6ポイント、③サービス業▲19.5ポイント、④設備業▲26.1ポイント、⑤小売業(飲・食料品)▲31.6ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和4年4～6月期の見通し）の売上高について

天気図

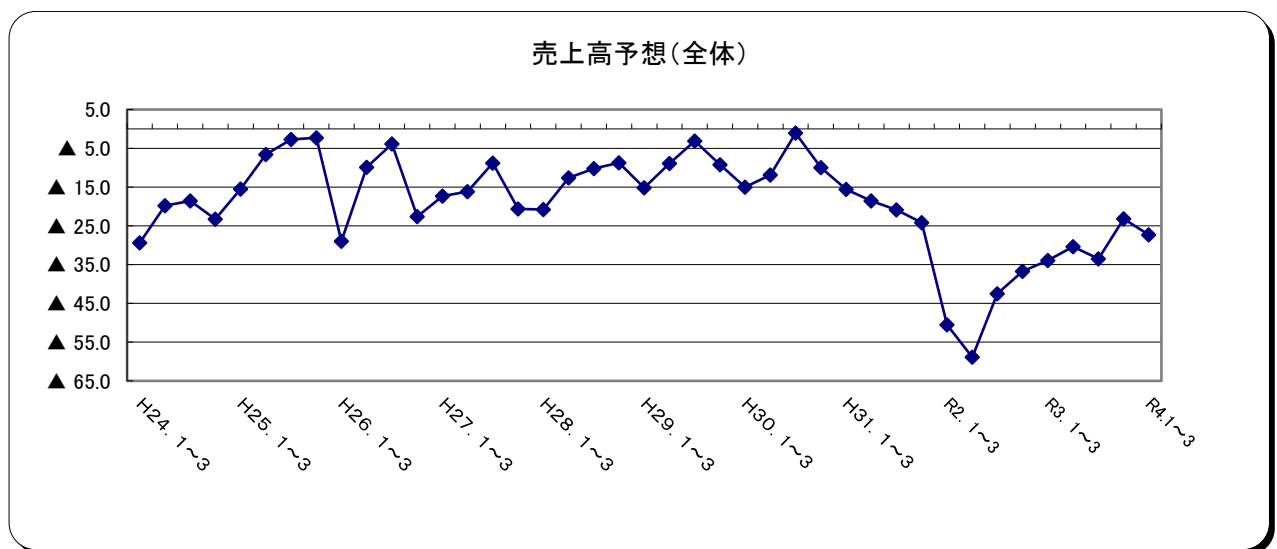


全業種DI指数▲27.3、前年比▲4.1ポイント低下

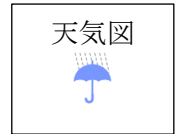
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業▲9.1ポイント、②設備業▲19.1ポイント、③化学・プラスチック製品製造業▲21.7ポイント、④建設業▲22.0ポイント、⑤卸売業▲22.2ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和4年4～6月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

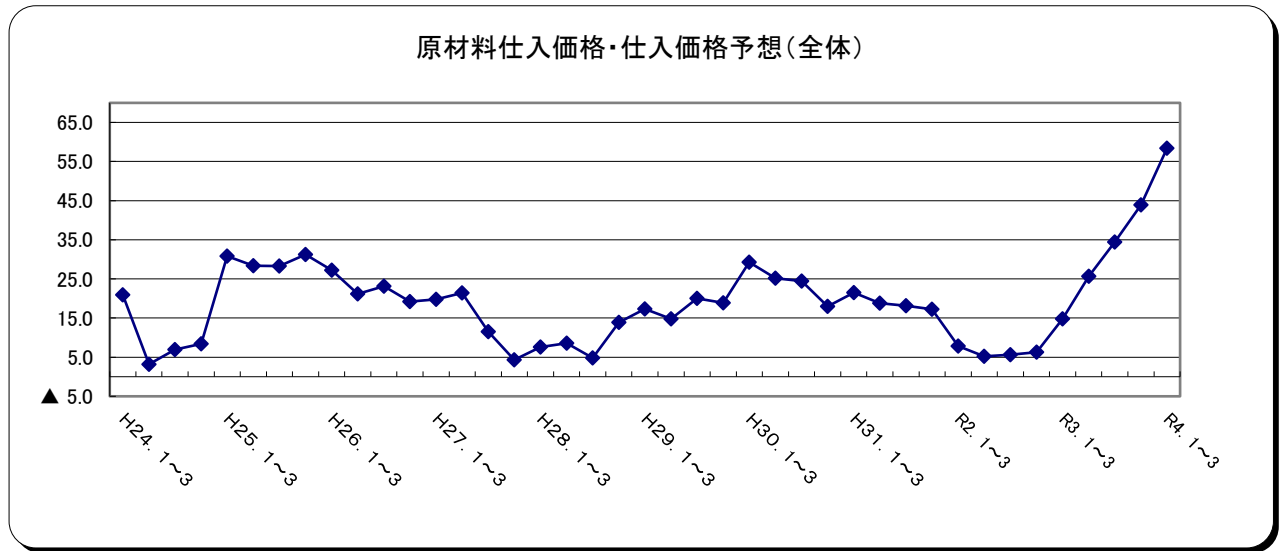


全業種 DI 指数 58.4、前年比 14.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①卸売業 83.0 ポイント、②繊維品製造業 78.9 ポイント、③化学・プラスチック製品製造業 67.7 ポイント、④食料品製造業 67.3 ポイント、⑤小売業(飲・食料品)66.7 ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和4年4～6月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について

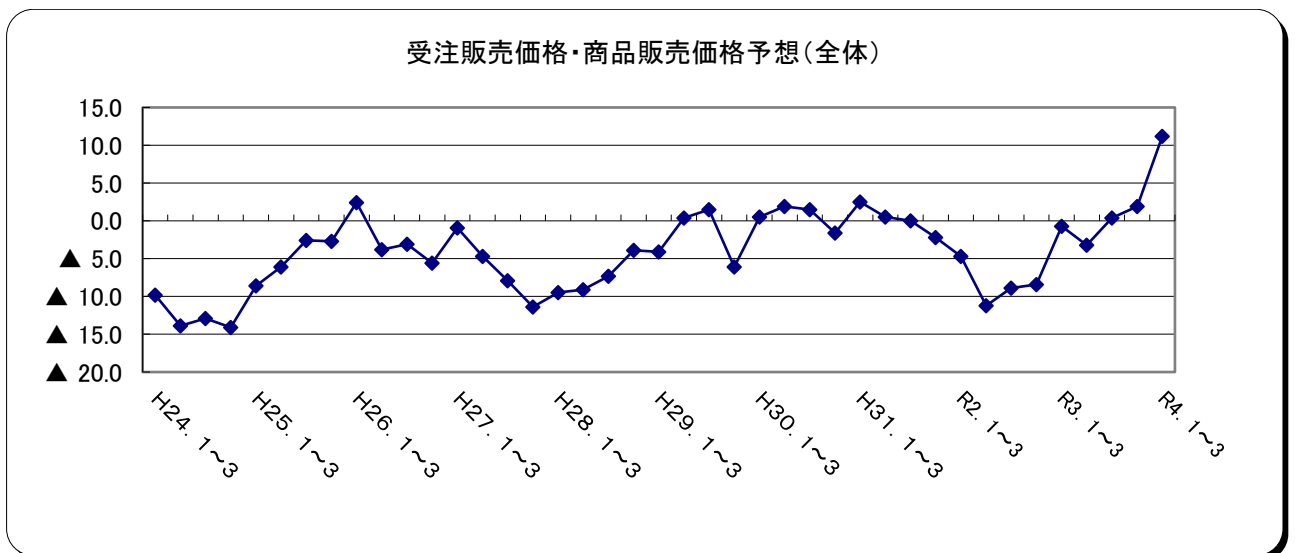


全業種 DI 指数 11.2、前年比 9.3 ポイント上昇

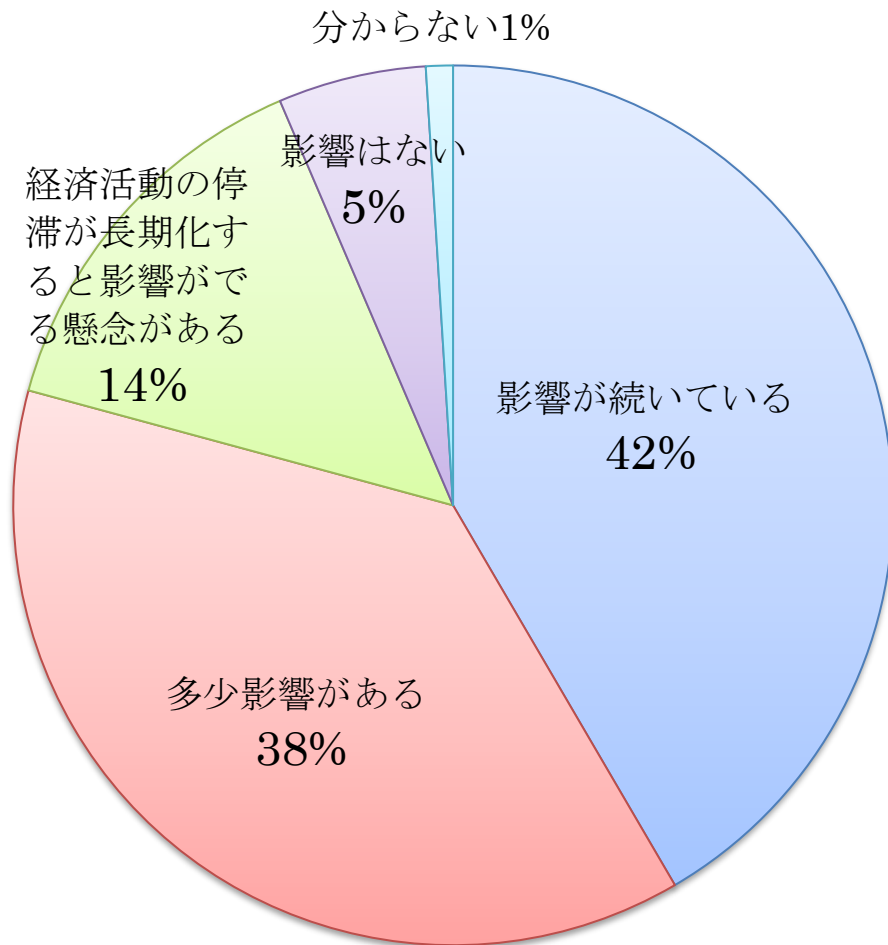
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①卸売業 39.6 ポイント、②その他の製造業 37.5 ポイント、③化学・プラスチック製品製造業 21.7 ポイント、④飲食店 16.2 ポイント、⑤小売業(飲・食料品)14.3 ポイント

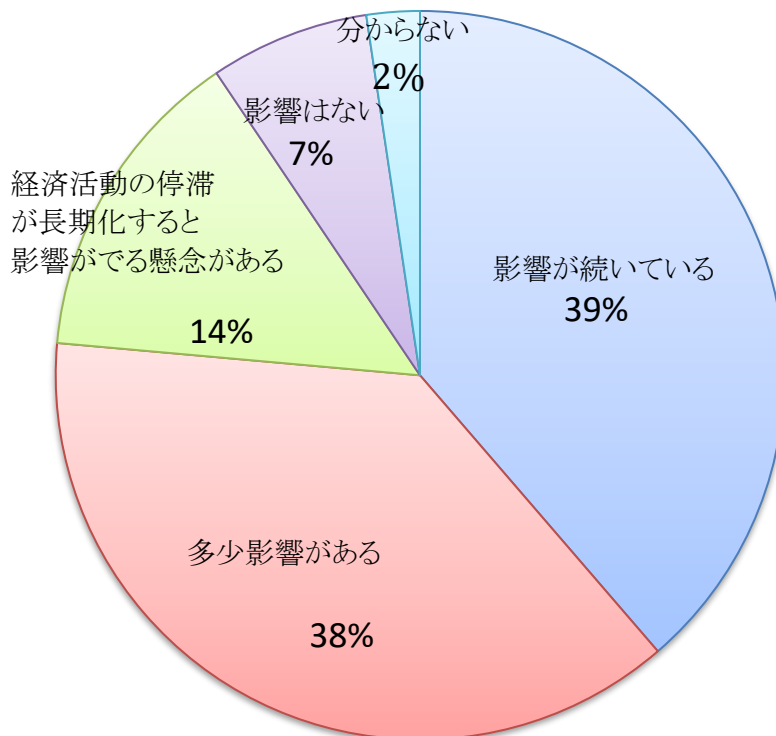
上昇
↑
↓
下落



新型コロナウイルスの影響について



令和3年10月～12月期(参考)



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・受注はあるものの仕入れが上昇していること、納期(設備・材料等)が遅れている理由から利益が薄くなっている。
- ・コロナの影響で入らない器具(エコキュート・便器・センサー・照明等)があり、まだまだ大変です。
- ・木材価格の上昇、半導体不足による給湯器・ウォシュレットの品薄による納期末定。
- ・年度末に受注が減少傾向、良くなる事を期待する。
- ・ガソリンが値上がりし大変です。
- ・コロナ禍の為、お客様と相対で話し合いが出来ない。
- ・オミクロン株の影響なのか、2.3ヶ月前より現場の数が減少している気がする。

設備工事業

- ・原材料高騰による仕入れコストの増大が影響している。コロナウイルス感染再拡大の繰り返しで、それに振り回されている。

繊維品製造業

- ・為替の円安が止まりません。落ち着かないと見通しが暗いものばかりになります。
- ・原材料価格の高騰が厳しいです。
- ・国策・賃金ベースUPについては、原材料高騰等にて苦しいところがあります。
- ・海外から輸入品が仕入れのほとんどですので、円安+材料高で厳しくなっております。

食品製造業

- ・全てはコロナウイルスによる影響です。ただこれを言い訳にしている先が見えてこないの、出来る限りの事はしていきます。もうコロナと共存して行くしかないと思うのですが。
- ・原材料やエネルギー関係などのコストが増加している。
- ・原料、消耗備品全て値上げ見込(ウクライナ影響はこれから)のため、どこまで悪影響が出てくるのか非常に不安です。
- ・原資材の値上げも影響があるが、ガス・電気の値上げも先が見えずに不安。対策としてLPGだけでなく都市ガスも検討したいが、利用者がいないのか環境が整備されない。(なんとかしてほしい。)
- ・ガソリンが高騰しているのに、なぜ岸田総理はトリガー条項を解除しないのか？景気が悪いのに物価が上がっていて、国民は苦しんでいるのになぜ岸田総理消費税減税しないのか？地元の雄茂木敏充氏も緊縮増税派なのか？←佐野商工会議所が茂木氏に追究して頂きたい。
- ・仕入価格が上昇する中で、販売価格への反映が厳しい状況であり利益が減少している状況です。

機械・金属製品製造業

- ・受注変動が大きく、生産計画が立てにくい。
- ・材料、購入品が上昇していて大変です。
- ・オミクロン株の感染者が減少しているが、安心できる状況ではない。ロシアのウクライナ侵略も許せないものである。平和な世の中はいつになったら来るのか？早く解決してほしいと思う。
- ・若干の底打ちを感じた所でしたが、ウクライナ情勢による材料価格高騰が心配される。
- ・4月より銚子が値上がりするので、4月より売上は減少するでしょう。
- ・ロシアの動向で仕入、売上に影響が出始めています。
- ・半導体不足の影響による部品の入手困難に加え原材料費や輸送費が急激に高騰し、業績が悪化している。

- ・トランプ→コロナ→ウクライナ

化学・プラスチック製品製造業

- ・半年程前からスタグフレーションの兆候が見える。
- ・仕入価格は上昇しています。また入手がむずかしい部品も有るので納期に影響があります。
- ・原材料費及び運送費の値上げがきています。
- ・期末によるかけこみ受注が少ない。先行の引合いはあるが、非常に決定が見えない状況である。
- ・原材料の高騰(原油)により苦しい状況です。材料入荷も安定していません。6月頃から入荷及び供給も安定する予想で動いています。
- ・原材料価格が高騰し続けている。

その他製造業

- ・材料が高値で推移しているので製品に乗せたいが、なかなかむずかしい。コロナ禍で納期が短くなっている。ウクライナ戦争は今後の資材調達や価格上昇が危惧される。
- ・各社とも価格上昇で動いて来ています。
- ・コロナの拡大、まん延防止適用により客足が遠のいている。事業復活支援金を申請したいのでサポートお願い致します。

卸売業

- ・ロシア～ウクライナ問題が早期に収束しなければ、各方面の影響がコロナに上積みされ業況に大きく影響します。
- ・資源を含むあらゆる物が急騰している為経費が上昇。自社のコスト削減努力には限界があり今後が非常に心配。
- ・客先の受注が減少しており、当然当社からの消耗品の買取り金額が減少の状況に有る。
- ・4月から値上げラッシュ。
- ・人材不足、社員・パート。
- ・原油価格上昇、商品不足により現状維持が難しい。
- ・商品の値上がりが続き、建築物の値上で減少の心配あり。
- ・経費の値上がり、輸出入全てが値上り先行きが不安。

小売業（飲・食料品）

- ・令和4年3月末日を以って揚げつまみの製造販売を終了します。
- ・1月中旬～2月にかけて来店客が少なく毎日退屈でしたが、気温が上がって来たので問い合わせ・来店客ともに増えてきました。
- ・1コロナの影響がはやくおさまれば 2少しですが物価上昇について不安あります。
- ・店主の高齢化とコロナで町並みも暗くてお、客様も姿無く兎に角淋しい町になって仕舞いました。

その他の小売業（大型店含む）

- ・先々不透明！ユーザー購買意欲減である。しかしチャンスの子算(補正)の兆もある。
- ・原油高により仕入価格が毎月値上がりしているが、すぐには販売価格に転換が出来ず利益は減少するばかりです。
- ・新型コロナウイルスの影響で来店くださるお客様が減少し売上が少なく商売が苦しくなっています。
- ・1～2月中は企画が当たり良かったが、3月は今までにない落込みした。
- ・まん延防止等重点措置にともなう営業時間短縮は飲食中心に影響しています。ここにきてウクライナ情勢も縮み商品の値上げ等で消費者の生活防衛意識も高まると思います。
- ・ウクライナとロシアの戦争により、燃料価格が上昇しています。コロナにより外出しない人が多くガソリンの消費が少なく売上がない。
- ・3～4月より仕入価格が値上げになると、メーカーより案内が来ています。
- ・仕入原価(生花)の高騰が続き利益を圧迫している。
- ・2月が悪かった、3月になって少し良くなって来たが、今後コロナの流行次第で変化する

と思います。

飲食店

- ・まん延防止期間は休業と致しました。晴れて今後はがんばって営業していきたいと思えます。
- ・商工会議所の皆様のおかげでなんとか事業継続しておりますが、ロシアの戦争の影響で今後の見通しが立たなくなりそうでこわいです。
- ・1月からの時短奨励金のおかげで150万円以上支援いただき、とても助かっております。
- ・小麦価格が春より大幅引上げとなりますので、残念ですが売価も改正させていただく事になりました。お客様にご理解いただけるかどうか心配です。
- ・水道光熱費など固定費がじわじわ値上がりしており、今後下がる見込みがありません。
- ・コロナへの対応もまずまずになってきた反面、ロシアの戦争の影響で素材価格やエネルギー価格が大幅に引上げとなり、次から次へと悪いことが続くものだな～と思います。
- ・ロシアの戦争により世界経済の悪化必至。日本も軍事力の強化が急務だが、今だに感染症の解決が出来ないで日本を守れるのか？不安増大だ。
- ・ロシア、ウクライナ戦争の為より一層材料費が高騰しているので値上げせざるしかない状況です。
- ・通常営業の再開を明るい見通しと期待します。コロナ禍においての色々な補助が営業の形となって良い方へと結実している気がしています。
- ・全国的に仕入価格が上がっているが、伴い販売価格を上げていっていいのか悩む。
- ・なかなか元に戻らない状況なのでどう対応してよいか。景気に反して仕入れ品物の料金は上がるばかりですが、価格を上げることもできず困っています。
- ・コロナウイルス感染症がいつ終息するのか見通しはつきませんが、必ず終わりはくるはず！心腐らず元気つけていきたいですね。多種多様な支援金制度があるので、上手に運用していきたいです。よろしくをお願いします。
- ・コロナ禍の影響が引き続きある中で、仕入れ(小麦など)の価格上昇が4月以降もあるので厳しい状況が続くと思われます。
- ・仕入価格の上昇が続き、新規取引先の開拓やまとめ買い・メニュー構成等で原価率を抑えていますが、価格面や在庫不足等で欠品する食材も出ています。当面は現状が続くと思われます。またスタッフの家族(主に子供)が濃厚接触者となり抗原検査の結果待ちで本人も欠勤というケースが複数回あり苦慮しています。
- ・時短営業中はどうしようもない。
- ・未だかつてない営業状態でこの先が不安です。
- ・テイクアウト弁当を販売できる場所があれば助かります。市役所回りとか。
- ・コロナによって生活習慣が変わり、この先 with コロナでどのように経営方針を考えるのか、これからもお力をそしてご指導下さい。宜しくお願い致します。
- ・コロナが多くなるとお客様の減少はまぬがれないです。
- ・協力金のおかげで営業できている状況です。
- ・少し戻りつつあってもすぐに蔓防になったりで悪すぎる。色々な物が値上がりの為良くない。

サービス業

- ・コロナで景気回復が遅いと思われる中ロシアとウクライナの問題もあり、今後の景気回復が気になります。
- ・まだまだ厳しい状態です。引き続きよろしくお願い致します。
- ・お客様の先行不安が大きくて購買力が低くなっている。早く景気回復してほしいです。
- ・コロナ禍3年目で来客の同期が全体的に伸びている事にとまどいます。上半期の様子を見ながらいろいろ考えなければいけないと痛感しております。
- ・コロナコロナとメディアでも流すので多方面に悪影響が出ていると思えます。飲食だけに補助金が出ていますが、手続きも意外と難しくないかなど、他の業種は何かと手続きが複雑と感じる。
- ・まん延防止条例が発令され特にフィットネスに影響が出ました。まだ回復していない状況です。

- ・オミクロン株の影響で当店のお客様でも感染された方が数人出る状況もあって売上は下がっています。
- ・コロナ禍の中、約2年間毎月前年対比売上20%~30%減少している企業は色々な補助金の対象に入らない。1ヶ月だけ50%減少して他の月は前年より売上が増加している企業の方が国・県・市と全て対象となり多くもらえるのは不公平。
- ・商品が供給されない事による混乱、工期延長など業務が増える傾向に…。
- ・結婚式に招待したら迷惑になるのでは…という雰囲気がまだ残っている。
- ・地元企業の設備投資が非常に少ない。よって新規雇用の増加が見込めない。但し現企業では経営維持のため人材が高齢化している。建築では仕事は確保出来るが消化が出来ない。技術者の不足→近い将来建築業の消滅が考えられます。
- ・地政学的リスク、金利上昇傾向等の影響が1月より出てきていて、先行きが不透明になっている。
- ・戦争がはじまり、更なる原油価格の上昇があるとオイル・油脂類の値上がりもまたまたおこるであろうと予測。在庫不足も懸念。
- ・年明け以降、感染者が増え仕事上とどこおる場面が出てきました。今後建築部材の高騰、商止まりが予想されるので、不動産関連においても目の前の仕事を地道に確実に行うことが大切と感じます。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和4年1月～3月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、202社（回答率69.6%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

$$D I \text{ 方式は、 } \frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100 \text{ により算出}$$

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所